

花き品評会を励みに 2人元気に続けていきたい

辻村正弘さん、咲子さん夫妻は23aのハウスでクルクマやダリアなどの花を栽培しています。

2人は、咲子さんが通っていた着付け教室の先生の紹介で、昭和60年に結婚。花農家に生まれた咲子さんは、結婚を機に両親と共に農業を続けてきました。

会社勤めだった正弘さんが定年退職を迎えた8年前、咲子さんのお父さんが体調を崩してしまつたため、正弘さんは迷わず就農しました。結婚当初から咲子さんのお父さんから耕運機の使い方を教えてもらっていたことや、咲子さんが栽培技術を習得していたことから、「農業は比較的スムーズに継承できたと思います」と正弘さんは話します。

土づくりと作業の効率性を考え、馬ふん堆肥を使うなど、栽培のこだわりを話す2人は、花き品評会で2年連続金賞(ダリア)を受賞しました。また、令和2年にはクルクマ生産者組織の会長を務めるなど、地域の花き生産にも貢献してきました。

現在、お母さんと娘夫婦、孫2人の4世代でにぎやかに暮らす2人。正弘さんはゴルフとフーバ、咲子さんはバレエボールとそれぞれの時間を楽しみつつ、年に1回、2人の旅行を心待ちにしています。

正弘さんが「仲良く元気で、けがをしないように続けていこう」と声を掛けると、咲子さんは「お互い元気にやっついでいこうね。これからもお願いね」と微笑みます。

私たちの 農ライフ

浜松市中央区湖東町
辻村正弘さん(68)
咲子さん(61)